

＜職員の手葉遣いについて＞の声

家族が入院中に耳にした、リハビリ科職員の手上の患者に対する手葉遣いが気になった。

高度の難聴や認知機能低下がある患者さんに対しては、大きな声で分かりやすく伝えるために手葉遣いを変えている場合など、必要な対応であった可能性もあります。ご指摘をいただいた際の詳細な状況はわかりませんが、リハ室・病室など院内では患者さんやご家族から見られている意識を持つようスタッフに周知・指導いたしました。

令和8年4月掲示

＜血圧脈波検査機器の精度について＞

の声

血圧脈波検査（ABI）を受けたが、結果が正しく表示されているのか、また「血圧測定が正しく行われませんでした」と機器にコメント表示されるのはなぜか。

ABI は上腕の血圧と足首の血圧の比を計測する検査です。左右上腕の収縮期血圧で最も高い数値を採用し、計算式に代入します。今回ご質問の数値は別の検査を行った際の上腕動脈の血圧の数字です。

血管外科で検査をされる患者様は動脈硬化が強い方が多いため上記のコメントが表示されることが多々ありますが、担当医師は波形や前回値などを参照し、この検査結果を治療方針に利用しています。

また、機器の精度については毎朝精度管理を行っており、今回の検査結果も担当医師より問題ないとの回答が得られておりますのでご安心ください。

令和8年4月掲示

＜病棟の長椅子について＞の声

背もたれの番号「-24-35」のグレーの椅子のシートが破れているので、補修をお願いしたい。

貴重なご意見をありがとうございます。改めて病院全箇所を確認いたしましたところ、「グレーの椅子」以外にも破損や汚れがあることがわかりました。順次修繕するか、買い替えの検討を進めたいと思います。

今後もお気づきの点がございましたらお知らせください。よろしく願いいたします。

令和8年4月掲示

＜整形外科手術後について＞の声

術後のスケジュールについてしっかりとした説明の場がほしい。

整形外科の多くはクリニカルパスという標準的な経過を図式で表したものを使用し、そのスケジュールに沿って入院生活を行っていただいております。しかし患者様の場合、専用のクリニカルパスが存在しませんでした。そのため2つのパスを合わせてお渡しし説明いたしましたが、分かりづらく申し訳ございません。今後パスが存在しない場合は、日々の担当からも当日のスケジュールをお伝えするようにいたします。

令和8年4月掲示

＜お褒めのお言葉＞

入院中の食事について

物価高の今日この頃、野菜類が沢山取り込まれているメニューで嬉しく思います。ご飯もとても味がよく、混ぜご飯もよく工夫されています。果物を三食にデザートとして美味しくいただきました。メニューが心暖まる家庭的な味付けで美味しいです。(中略)「病院食＝まずい」というものが払拭された今回の入院です。ロビーの選択メニュー写真集もとても工夫されていていいですね。

患者さまのご家族からいただいたお褒めのお言葉です。

大変励みになります。ありがとうございました。

令和8年4月掲示